



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学附属図書館報「榆蔭」9号
Description	Vol.2 No.3
Issue Date	1968-03-30
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/66836
Type	journal
File Information	yuin9.pdf





教育研究と資料

教育学部教授 佐々木隆介

先日、戦後の北海道教育史編さんについてのつどいがあり、その席上話題となったことのひとつに資料発見の困難があった。現在の公共図書館の蔵書は図書中心で、その他の資料は十分に保有されていない模様である。このことと関連して創設時の教育学部のことをしるしてみたい。教育学部はまだ歴史の浅い学部である。私が奉職したのは昭和27年春のことであったが、当時留岡清男教授（現在北海道家庭学校長）がいつもいっておられた言葉が印象に深い。

「書物無くして学問をしようとするのは、あたかも曇りの上での水練のようなものだ。」

先生は終戦後の極度に図書が不足していた頃、良書普及のためにいち早く読書組合を作られたほどの方であったから、学部図書の充実にはつねに意を注がれ、さらに資料室の構想を打ち出されたのであった。それはつぎのようなものであったと記憶している。

「教育の研究を進めるためには図書以外に、書店では購入できない資料、とくに官公庁、諸団体が刊行した資料を幅広く集めなくてはならない。それは文部省や教育委員会、学校関係の資料に限定せず、教育研究の基底をなす、産業、経済、開発関係の資料に重点をおかなければならない。」

この構想は直ちに実行に移され、先生を中心としてわずかな人手で、足を利用しての資料集めがはじめられた。それは北海道庁の各部局、開発局、農漁業団体、放送局、諸会社、民間の各団体等におよぶものであった。（当時はまだ政府刊行物の発売所もなかった）

私も着任早々の仕事として、あいさつ廻りをかね、風呂敷を手にして連日札幌市内各所を歩いて資料を寄贈してもらった思い出がある。やがて専任の資料係がおかれ、この仕事はさらに組織的且つ精力的に行なわれるに至り、収集の範囲も各省、各都府県におよぶものになった。

こうして当初わずか数百冊にすぎなかった資料数も、それから十数年を経た今日では約1万4千点に達し、教育関係のほか、農林、労働、厚生、通産等の諸分野にわたり、北海道関係の資料も増加をみ、厚味のある構成となったのである。

附属図書館や歴史のある学部にくらべればささやかなものであろうが、これは今では私どもの学部の貴重な財産となっている。

それにつけても人文・社会系研究者にとって、これら資料のもつ意義は大きい。大学図書館も公共図書館も今後ますます資料の収集・整理・保管・利用に配慮していただきたいものであると思う。

◆ 会 議

第29回 図書館委員会

<と き 昭和43年3月27日(水)>

<ところ 附属図書館会議室>

1. 北方資料室利用内規について—去る2月20日の第1回北方資料室運営委員会の決定に従い作成された標記内規が図書館側より提案され決定された。尚この内規は本学物品管理取扱規程、北海道大学図書取扱規程との関係を整備しなければならないので、これ等諸規程を改正する迄の暫定的なものとして行なうこととした。
2. 閲覧個室の割当について
館長より閲覧個室利用内規について報告し、引き続き利用申込者選考に入り、第1種、第2種に各々8名、14名を決定した。
3. 昭和44年度概算要求について—昭和44年度要求内容は前年度と比べ殆んど変わりはないが総合目録作成については計画年次を五カ年単位として組まれている。
其の他一般演習室の利用状況につき報告があった。

全学図書掛長会議

<と き 昭和43年4月16日(火)>

<ところ 附属図書館会議室>

1. 事務部長より去る3月27日の第29回図書館委員会について報告があったのち、外国雑誌に係るポンド関係支払方法は、本学契約書により行なった旨報告した。
2. 文部省より照会のあった“図書等の購入計画について(基本参考図書関係)”について部長より説明を行ない部局において検討のうえ早急に資料を提出される様依頼した。

第30回 図書館委員会

<と き 昭和43年5月1日(水)>

<ところ 附属図書館会議室>

1. 図書等の購入計画について—本省より照会のあった標記計画(昭和44年以降五カ年以内に入手可能なもの……基本参考図書関係)を館長より説明し、本学よりの提出資料を決定した。
2. 昭和43年度附属図書館予算要求、及び昭和42年度同決算報告について—事務部長より本年度予算要求各項目につき、前年度決算報告と対照して説明を行ない了承された。

四 季

教育学部

教育学部は、人間形成の科学的研究とその技術的実践とを総合研究する学部として、昭和24年5月に設置された。現在、九講座(実験講座3)、保健体育、1施設が設けられている。

すでにとりこわされたが、設立当初は、中央講座におかれ、その後、昭和31年に旧土専あとに移転し現在にいたっている。いまは古い建物の一つとなったが、来年の今頃は経・法・文と並び新築される予定である。

図書掛は、総員4名であるが、うち1名は欠員不補充で定員が配置されず、臨時職員でまかなわれている。

人文系学部の図書掛として考えると、少くない陣容で図書業務がおこなわれ、しなければならぬことが多いのこされ、その機能を十分に果すことができず、教育・研究の要請に答えられていないのが現状である。

蔵書は、和書 14,200 冊、洋書 9,400、資料 10,000 冊、であり、利用は接架式である。蔵書構成では、勿論、教育関係書を中心として構成されているが、教育に近接する諸分野の研究が広くおこなわれていることから、心理・社会経済・保健保育、等収蔵する図書も広範にわたっている。

また、図書室の設立当初は、資料を足で手まめに収集された経緯もあって、その蔵書は価値も高く、貴重なものが含まれている。調査研究が広くおこなわれている関係上、これら資料の収集が重視され、専門に 1 名配置されている。

そのほか、教職課程、社会教育主事講習が毎年おこなわれ、これらに要する仕事も少なくない。

日常業務のなかで、新着図書目録(冊子)の刊行、大学、高等学校沿革史目録の刊行をおこない、また、最近、ゼロツクの導入もあって、雑誌のコンテンツ・サービスをはじめたが、人員・予算のうえからむずかしい状態になってきているがこれをどう軌道にのせるかが課題としてのこされている。

また現在、地方教育史資料、各国教育制度資料、大学教育関係資料の収集、整備などこのほか文献の整備を考慮していかなければならない仕事ものこされている。

先に述べたように、来春に新設されることで、いまは、図書室内部をどのようにしていくか諸々の問題をかかえながら検討をかさねている。一つには、法・文・経と同様に学部図書の面積が少なくないことであり、このきめられたスペースのなかで、機能的な図書室をつくりあげなければならないことである。

幸いにして、現在より多少縮小されてはいるが、整理室(マイクロリーダー室、を含む) 45.6 m²、書庫 110.2 m²、閲覧室 22.8 m² が設けられ、しかも近接設置されるよう研究塔内に組まれたことは、図書室の機能のある程度まで生かすことができた。しかし蔵書の増加にみあう書庫、単位制教育、学生増にみあう閲覧室は依然として狭くこの見通をどう考慮していかなければならないかこれからの課題である。移転にともなう業務がこの一年集中し多忙な年となることであろうと思う。

◆ 学内図書館だより

<附属図書館>

北方資料室移転について

本年 3 月文学部新館落成に伴ない空室となった付属図書館内の研究個室は、図書館本来の目的のために利用されることになり、「北方資料室」も北面 5 階の 8 室を改造してここに移転し、3 月 18 日より業務を再開した。このため従来北面 2 階の旧「北方文化研究室」および南面 4 階の「参考図書閲覧室」に分散していた北方資料が 1 個所に集中できるようになった。

本館の北方資料は主として北海道・樺太・千島・アイヌ等に関する資料よりなり、図書・写本・パンフレット・地図・写真・レコードなど約 18,000 点である。これらの資料は札幌農学校創設以来蒐集されてきたもので、とくに昭和 12 年「北方文化研究室」開室以後は積極的に資料の蒐集が行なわれ、北海道庁からも「新撰北海道史」全 7 巻編輯の際に集められた資料

の寄托を受け、現在では本館におけるもっともユニークなコレクションの一つとなっている。

昨年文学部に「北方文化研究施設」が付置されることになり、従来の「北方文化研究室」はこれに合併されたが、これを機会に「北方資料室」を図書館内に設け、図書館と文学部双方によって「北方資料室運営委員会」を作り資料室の運営および資料の充実に努めることが決められた。この際文学部はすでに所蔵している北方資料を図書館に管理換して「北方資料室」に収めるばかりでなく、今後も主としてユーラシア北方圏に関する洋書を網羅的に蒐集する計画である。このようにして当面は発注分も含めると約 1,000 冊の洋書が文学部より「北方資料室」に移管されることになった。これはすでに「北方資料室」が所蔵している約 300 冊の貴重な北方関係洋書（冊子目録あり）と合体される予定である。将来においては文学部と図書館の協力により、世界に誇りうる北方関係の文献センターを作り上げることが期待される。

「北方資料室」は参考掛より 2 名を派遣して運営しており、広く学内外の研究者に開放されているので、利用者の活用が望まれる。

近代文学資料室開設さる

4 月 1 日より本館東面 5 階の旧研究個室 3 室を改造して近代文学資料室が開設された。これは文学部が蒐集した近代日本文学関係の文献を別置した資料室で、これまで参考図書閲覧室の近代文学コーナーにおかれていた資料を移したものである。資料室の管理は図書館が行なうが、文学部からも助手 1 名が派遣されて利用者に対するサービスを行なっている。資料室の開設とともに学内外からの利用者も増加し、資料の充実計画もすすめられている。

学術雑誌閲覧室の移設

「北海道資料コーナー」および「近代文学コーナー」が主題別資料室として移転したあと、参考図書閲覧室の一部の模様替を行なった。この結果従来東側におかれていた「学術雑誌コーナー」は西側に移されて、学術雑誌閲覧室（入口は参考図書閲覧室と共通）となり、ここには図書館受入の学術雑誌約 1,000 種の最新号が並べられている。これらの雑誌のバックナンバーも製本に出されるまでの約 1 ケ年分をこの室で閲覧することができる。製本済の雑誌は書庫内に配架される。なお一般雑誌は 2 階開架図書室内に展示されている。

北海道地区大学図書館協議会連絡会議

来る 9 月、昭和 43 年度全国図書館大会が札幌市において開催されるに当たり、大会事務局より協議会宛協力方の依頼があったため、協議会側の協力方法につき打合せを行なった。

北海道大学附属図書館北方資料室利用内規

北海道大学附属図書館北方資料室（以下「北方資料室」という。）所蔵の資料の利用に関する特則を次のように定める。

第 1 条 北方資料室所蔵資料（禁帯出資料を除く。）の館外貸出し冊数および貸出期間は次のとおりとする。ただし、必要に応じ貸出し期間中であっても返納を求めることがある。

- | | | |
|--------------|------|--------|
| 1 職員および大学院学生 | 10 冊 | 30 日以内 |
| 2 学 生 | 3 冊 | 10 日以内 |

第 2 条 北方資料室所蔵の資料については、部局長の申し出による第 2 次的保管は行なわないものとする。

附 則

この内規は昭和 43 年 4 月 1 日から施行する。

北海道大学附属図書館閲覧個室利用内規

第1条 閲覧個室を次の3種類に分け、利用資格者及び利用期間は次のとおりとする。

- 1 第1種閲覧個室(1室1名) 教官(講師以上) 6ヵ月又は3ヵ月
- 2 第2種閲覧個室(1室3名) 助手及び大学院学生 3ヵ月
- 3 第3種閲覧個室(1室1名) 教官(講師以上) 1日

第2条 第1種閲覧個室及び第2種閲覧個室の利用を希望する者は、所定の期日まで別紙申込書により申し出ずるものとする。

2 前項の期日は、その都度館長が定めて公示する。

第3条 第3種閲覧個室の利用申込みは、その都度申込帳簿に記入して申し出るものとする。

第4条 第2条の申込みがあったときは、図書館委員会にはかってその可否を決定し利用を許可する場合は、別紙許可書を当該部局庶務掛に送付するものとする。

第5条 利用者が本館の管理に関する定めに違反したときは、館長は以降の利用を停止又は禁止することができる。

第6条 この内規に定めるもののほか、利用に関し必要な事項は館長が定める。

附 則

この内規は昭和43年2月28日から施行する。

昭和42年度部局別蔵書冊数

(昭和43年3月31日現在)

部 局	和 書	洋 書	計	備 考
文 学 部	83,057	57,576	140,633	
教 育 学 部	13,798	9,486	23,284	
法 学 部	30,629	58,662	89,291	
経 済 学 部	35,958	23,154	59,112	
理 学 部	24,142	62,537	86,679	
医 学 部	13,456	27,179	40,635	
病 院	18,924	18,527	37,451	
薬 学 部	517	763	1,280	
歯 学 部	410	197	607	
歯 学 部 病 院	145	—	145	
工 学 部	70,507	72,360	142,867	
農 学 部	89,830	69,452	159,282	
獣 医 学 部	4,862	7,350	12,212	
水 産 学 部	35,853	20,904	56,757	
教 養 部	11,278	7,171	18,449	
低 温 研	3,299	5,396	8,695	
応 電 研	2,245	2,502	4,747	
触 媒 研	980	2,053	3,033	
結 核 研	1,335	1,717	3,052	
工 教 養 成	2,922	880	3,802	
事 務 局	363	—	363	
図 書 館	174,842	72,968	247,810	
合 計	619,352	520,834	1,140,186	

昭和 42 年度部局別受入冊数

(昭和 43 年 3 月 31 日現在)

部 局	和 書					洋 書				
	購 入		寄 贈		計	購 入		寄 贈		計
	単	雑	単	雑		単	雑	単	雑	
文 学 部	2,534	86	87	—	2,707	4,490	—	9	—	4,499
教育学部	1,368	70	86	23	1,547	730	132	8	—	870
法 学 部	716	148	378	314	1,556	1,767	1,230	245	155	3,397
経 济 学 部	490	182	1,104	584	2,360	871	150	98	7	1,126
理 学 部	1,062	44	75	68	1,249	1,912	994	72	418	3,396
医 学 部	657	308	62	287	1,314	548	685	—	63	1,296
病 院	267	32	1	—	300	15	3	1	—	19
薬 学 部	133	8	111	14	266	68	148	36	60	312
歯 学 部	410	—	—	—	410	197	—	—	—	197
歯学部病院	145	—	—	—	145	—	—	—	—	—
工 学 部	4,978	790	325	888	6,981	1,813	1,966	219	377	4,375
農 学 部	3,840	256	31	255	4,382	947	422	32	527	1,928
獣医学部	132	17	19	133	301	262	74	90	118	544
水産学部	1,134	189	12	122	1,457	244	454	1	89	788
教養部	4,157	—	70	—	4,227	1,740	22	—	—	1,762
低温研	78	54	7	114	253	87	224	8	106	425
応電研	183	—	—	—	183	285	—	2	—	287
触媒研	44	—	5	—	49	103	2	5	—	110
結核研	53	1	7	8	69	116	113	—	3	232
工教養成	231	10	3	9	253	76	16	—	—	92
事務局	33	—	—	—	33	—	—	—	—	—
図書館	3,507	391	2,309	1,029	7,236	626	156	349	201	1,332
総 計	和 書		37,278		洋 書	26,987		計	64,265	

昭和 42 年度 図書館利用統計表

開架図書閲覧室

入室者数統計表

274 日

学 部	文 学	法 学	経 济	教 育	教 養	理 学	農 学	工 学	医 学	薬 学
入 室 者	6,016	17,725	5,677	2,151	34,806	7,745	3,353	5,572	3,782	1,552
%	6.5	19.3	6.2	2.3	37.8	8.4	3.7	6.1	4.1	1.7
学 部	獣 医	工 教	附属施設	大学院	教 官	職 員	学 外	歯 学		累 計
入 室 者	176	697	531	1,086	136	409	642	2		92,065
%	0.2	0.8	0.6	1.2	0.1	0.5	0.7	0.0		100%

館内閲覧統計表

類 別	0	1	2	3	4	5	6	7	8
冊 数	477	2,211	360	16,087	857	17,127	4,290	1,286	4,044
%	0.2	2.6	0.4	18.6	1.0	19.8	5.0	1.5	4.7
類 別	9	辞 書	教官指定	文 庫	新 書	雑 誌	そ の 他		累 計
冊 数	4,451	11,373	12,340	1,534	1,026	8,847			86,310
%	5.2	13.2	14.3	1.8	1.2	10.3			100%

語学演習室利用統計表

237 日

学 部	文 学	法 学	経 済	教 育	教 養	理 学	農 学	工 学	
利 用 数	384	261	282	316	2,198	277	352	385	
%	6.9	4.7	5.0	5.7	39.3	5.0	6.3	6.9	
学 部	医 学	薬 学	獣 医	工 教	大 学 院	そ の 他			累 計
利 用 数	465	13		26	449	183			5,591
%	8.3	0.2		0.5	8.0	3.3			100%

参考図書閲覧室

学 部	文 学	法 学	経 済	教 育	理 学	農 学	工 学	医 学	
利 用 者	1,544	4,184	1,543	300	569	444	476	426	
%	13.9	37.7	13.9	2.7	5.2	4.1	4.3	3.8	
学 部	薬 学	獣 医	水 産	研 究 所	教 養	学 外			累 計
利 用 者	68	14	11	18	809	677			11,080
%	0.6	0.1	0.1	0.1	7.3	6.2			100%

一般閲覧館内閲覧統計表

292 日

学 部	文 学	法 学	経 済	教 育	教 養	理 学	農 学	工 学	医 学
冊 数	452	378	123	52	785	93	72	109	34
%	15.7	13.1	4.3	1.8	27.3	3.2	2.5	3.8	1.2
人 数	198	240	87	27	446	58	45	55	23
%	12.9	15.7	5.7	1.8	29.1	3.8	2.9	3.6	1.5
学 部	薬 学	獣 医	工 教	附 属 設 施	大 学 院	教 官	職 員	学 外	累 計
冊 数	21		11	11	167	135	74	362	2,879
%	0.7		0.4	0.4	5.8	4.7	2.6	12.6	100%
人 数	8		10	7	75	60	34	159	1,532
%	0.5		0.7	0.5	4.9	3.9	2.2	10.4	100%

一般閲覧室館外貸出統計表

学 部	文 学	法 学	経 済	教 育	教 養	理 学	農 学	工 学	医 学
冊 数	909	809	691	90	1,987	220	230	147	122
%	4.8	4.2	3.6	0.5	10.4	1.2	1.2	0.8	0.6
人 数	731	648	520	83	1,685	194	186	124	114
%	10.1	9.0	7.2	1.2	23.4	2.7	2.6	1.7	1.6
学 部	薬 学	獣 医	工 教	附 属 設 施	大 学 院	教 官	職 員	学 外	累 計
冊 数	55	1	28	33	2,327	10,765	579	94	19,087
%	0.3	0.0	0.1	0.2	12.2	56.4	3.0	0.5	100%
人 数	54	1	22	30	945	1,399	420	60	7,216
%	0.8	0.0	0.3	0.4	13.1	19.4	5.8	0.8	100%

参考掛経由学外文献複写申込件数

学 部	文学	法学	経済	教育	理学	農学	工学	医学	薬学	獣医	研究所	館内	合 計
件 数	126	65	40	29	66	214	76	4	21	53	20	16	730

うち国外申込件数 83件 (アメリカ 68, イギリス 7, フランス 2, その他 6)

昭和42年度 マイクロ・ゼロックス複写業務実績表 (館内分を除く)

区 分	学 内 (校費)				学 内 (私費)				学 外				計			
	件数	数量	単価	金 額	件数	数量	単価	金 額	件数	数量	単価	金 額	件数	数量	単価	金 額
基本料金	61	61	50	3,050	63	63	50	3,150	98	98	50	4,900	222	222	50	11,100
マイクロフィルム	26	2,480	8	19,840	28	5,906	8	47,248	92	38,272	10	382,720	146	46,658		449,808
A 5	22	283	22	6,226	1	25	22	550								
	20	8,175	20	163,500	37	6,155	20	123,100	9	3,257	25	81,425	89	17,895		374,801
B 5	5	342	30	10,260	6	2,175	30	65,250	1	67	40	2,680	12	2,584		78,190
A 4	1	217	45	9,765												
	12	2,501	40	100,040	3	57	40	2,280	3	35	50	1,750	19	2,810		113,835
B 4	8	784	60	47,040	1	15	60	900					9	799		47,940
特 撮	2	10	2	20	1	1	2	2	1	67	2	134	4	78		156
容 器 代	24	24	10	240	24	24	10	240	82	82	10	820	130	130		1,300
送 料	3			75	1			40	81			4,210	85			4,325
計	61			360,056	63			242,760	98			478,639	222			1,081,455
電子複写	11	597	25	14,925	23	1,049	25	26,225	18	580	30	17,400				
送 料	222	7,510	30	225,300	777	14,531	30	435,930	552	12,667	35	443,345	1,603	36,934		1,163,125
	63			2,535	11			640	465			34,450	539			37,625
計	233			242,760	800			462,795	570			495,195	1,603			1,200,750
総 計	294			602,816	863			705,555	668			973,834	1,825			2,282,205

○本学教官が出版した著作物

(単行本) 第1回

獣医学部

黒沢亮助・酒井保・小池寿男・河田啓一郎

家畜外科診療 (昭和38年)

長倉義夫・酒井保

犬疾病学外科篇 (昭和38年)

黒沢亮助・十村良一・酒井保・三浦四郎

臨床獣医宝典 (昭和34年)

水産学部

井上直一

乾燥の物理学 (不明)

小林喜一郎

航海力学 (昭和24年)

元田茂

北海道湖沼誌 (昭和25年) 海とプランクトン (昭和

和19年) 日本海洋プランクトン図鑑

(昭和41~42年)

谷川英一

塩蔵食品 (昭和23年) 漁獲物処理 (昭和27年)

包装食品 (昭和34年) 缶詰の科学 (昭和23年)

缶詰論総論 (昭和14年) 缶詰の製造 (昭和31年)

騒動とその漁業並に加工業 (昭和30年) 燻製食

品 (昭和23年) 食品細菌学上下 (昭和24年) 水

産学全集 (6) 水産加工学 (昭和35年) 水産細菌

学 (昭和24年) 水産工場設計及び管理 (昭和26

年) 水産食品製造加工 (昭和31年)

谷川英一・秋場稔

冷蔵の科学 (昭和26年)

谷川英一・谷田専治・斎藤市郎

イカとその漁業並びに加工業 (昭和26年)

谷川英一・坂井稔

水産微生物学 (昭和35年)

前号の訂正

頁 行	誤	正
四季 3 ページ 7 行目	中央館	附属図書館
" 8 行目	中央館書庫へ	附属図書館書庫へ

◆ 人事往来

新図書館委員

阿部武彦 文学部教授

藪重夫 法学部教授

杉浦清治 医学部附属病院教授

小池寿男 獣医学部助教授

北村文治 教養部教授

大畑甚一 教養部助教授

—— あ と が き ——

北大構内もすっかり緑におおわれ、春たけなわとなりましたが、本日、
檣蔭, Vol. 2 No. 3 号を、おとどけます。尚、各部局から提出していた
だいた「本学教官が出版した著作物 (単行本)」は順次掲載します。

北海道大学附属図書館報 「檣蔭」 Vol. 2, No. 3 (通巻9号)

1968年3月30日 発行 発行人 斉木一郎

発行所 北海道大学附属図書館 札幌市北8条西5丁目 電話代表 71-2111 (2966)

印刷所 文栄堂印刷所 札幌市北3条東7丁目 電話 23-5560